

助成金申請書作成記入要領

助成金を申請しようとする者は、助成金申請書（別紙様式）を作成し、研究・開発テーマに関連する最近3年間程度の論文のリスト及び論文の写し（3篇程度）と、推薦書を添付し、申請期日（令和7年7月31日）までに当法人あて郵送にて提出してください。

申請書は、当法人の審査委員会における審査の際の資料となるものです。

については、下記の点に留意した上で、楷書体で誤りのないように作成してください。

記

- 助成の対象となる研究テーマは「医学医術に関する研究」及び「医薬品医療機器等の研究開発」に限ります。
- 助成の対象となる研究施設及び研究者は「広島県内の施設」及び「広島県内の研究者」に限ります。県外研究施設又は県外研究者との共同研究は、広島県内の研究者が主導の場合に限ります。尚、教授等高い地位にある方は申請できないこととなっております。
- 同一研究室による申請は一件に限ります。
- 企業との共同研究は助成の対象外です（助成期間終了後に、企業と共同研究することは、差支えありません）。
- 製造販売承認など許認可用試験は、助成の対象外です。
- 当財団の理事、評議員、審査委員が共同研究者となっている研究は助成の対象外です。
- 助成金申請書の太枠内は全てご記入ください。なお、※印にもご注意ください。

1. 「研究等施設の名称」欄は、研究等を実際に行う施設の名称及び、学部、学科、教室等をご記入ください。
2. 「施設の所在地等」欄は、郵便番号、電話番号を記入してください（内線があるときは必ず内線番号もご記入ください。）。
3. 「研究代表者氏名」欄には、研究代表者の氏名を記入し、その上段にふりがなを付し、必ず押印してください。また、役職名には、准教授、講師、助教等をご記入ください。併せて、E-mail アドレスもご記入ください。
4. 「研究・開発テーマ」欄には、一般的、抽象的なものは避けて、研究の内容を具体的に表すようできるだけ簡潔にし、ご記入ください。**研究の目的、対象と方法は必ず明記してください。**また、＜事業＞のうち（1）または（2）のいずれかに ○ 印をしてください。
5. 「研究・開発経費」欄には、研究・開発計画に基づいて、年度別・使用内訳別及び対象数に基づく見積もりをそれぞれ記入し、総計をご記入ください。金額は、各使用内訳別に千円単位で記入し、千円未満の金額は切り捨ててください。

尚、研究・開発経費の申請額どおり助成されないことがありますので、あらかじめご了承ください。**助成金の上限は、目安として研究期間が1年以内は100万円程度、2年以内は200万円程度とします。**

- ・ 消耗品費は、各種カテーテル、ガラス・プラスチック器具、接着剤、フィルム等です。
 - ・ 薬品費は、測定試薬、一般試薬、培地、医薬品等です。
 - ・ その他は、実験用動物及び飼料、解析用コンピュータ使用料及びソフト使用料（消耗品費、薬品費に含まれないもの）等です。
 - ・ 論文投稿料は、30 万円を限度とします。
 - ・ 実験機器並びに出張旅費、謝金・礼金等の経費は助成の対象となりません。
6. 「研究組織」欄には、グループで研究・開発をするとき、研究代表者を除く他の研究者の氏名等をご記入ください。
- ・ 所属名は、〇〇大学△△学部××科学
 - ・ 役職名は、准教授、講師、助教等
 - ・ 専攻は、解剖学、生理学、薬理学、病理学、内科学等
 - ・ 備考は、審査の際に参考となるようなこと
7. 「消耗品等の明細」欄は、年度別に消耗品費、薬品費、その他に区分して記入してください。費用の区分は、5. 「研究・開発経費」の区分に従ってください。
8. 助成金は、申請内容に添って支出していただきます。また、研究期間終了後、会計報告を提出していただく場合があります。
9. その他
- ・ 助成期間中は、少なくとも一年に一度は中間レポートを提出していただくとともに、助成期間終了後には最終レポートを提出してください。
 - ・ 研究成果に基づき、論文を刊行した場合は、論文を提出してください。
 - ・ 論文の謝辞に、土谷記念医学振興基金の助成金により研究が施行されたことを明記してください。

[提出書類]

1. 助成金申請書（3 枚で一組）
2. 学長・学校長・学部長、又は研究施設長の推薦書
（共同研究者及び所属研究室の教授は推薦者として不可）
3. 研究・開発テーマに関与又は関連する最近 3 年間程度の論文のリスト及び論文の写し（3 篇程度）

○ 問い合わせ先

〒730-0051 広島市中区大手町 3－1－3 I T 大手町ビル 6 F

一般財団法人土谷記念医学振興基金 事務局

TEL : 050-6865-3880

E-mail info@tsuchiya-foundation.or.jp

担当： 中 川

以 上